

各発表者から、教化における問題点と日常の課題が提示された。なお、発表内容は「現代宗教研究」第十七号に掲載した。

- (3) 檀林調査 千葉県松崎檀林予備調査
- (4) 資料センターの現宗研内設置に伴って、教化に関する資料を収集し、資料・図書を分類保管した。図書資料目録の作成をはじめめる。いままでの中央教研会議参加者に対し、檀信徒教化についての事例体験の原稿を依頼し、中央教研会議の資料として編集した。
- (5) 資料センター機能の一環として、教化資料シリーズを発足させ、各種資料より「三分間法話集」「近代日蓮宗年表55・56年」「唱題行入門」の三冊を編集作成して全国寺院教会結社に提供した。
- (6) 教化資料センターの内容と方法の研究のため、各宗派教化関係研究所と交流をもち、教化の方法など情報交換・交流をもった。
- (7) 近代日蓮宗史料・布教資料として、日蓮宗布教選書のための資料収集を行なった。

(8) 昭和五十五年実施の「宗勢調査報告書」を編集、作成した。人口動態と寺院分布状況についての調査の実施。

(9) 教化資料収集のため、各寺院七百遠忌報恩奉行関係資料収集の願いを遠忌事務局と協同して全国宗務所・寺院教会結社に依頼した（〆切九月末日）が、十六宗務所経由で五十三カ寺（二月十日現在）より資料が寄せられた。

(10) 「現代宗教研究 特集・日蓮宗の教化学研究」第十七号の発行。

(11) 顧問会・嘱託会議・研究員会議・研究例会の開催。

昭和五十七年度

現代宗教研究所活動日誌

四月十四日 第六回山静教区教化研究会議、於山梨県長遠寺。
テーマ「このままで寺院は存続できるか―寺院の将来を考

える

四月二十三日 各宗務所あて各寺院遠忌資料収集依頼状を同封し発送する。

五月七日 研究員会議・研究例会を開く。

五月十八日 教化についての事例体験の原稿依頼状を発送する。

五月二十四日 日蓮宗布教選書編集会議を開く。

六月四日 人材調査について研究員意見交換を行なう。研究例会。

六月七日・八日 第六回中四国教区教化研究会議、於島根県

松江市。テーマ「七百遠忌教化活動の反省と今後の教化活動」

六月十八日 現宗研顧問会議を開く。研究員出席。

六月二十一日・二十二日 第四回九州教区教化研究会議、於

宮崎市。テーマ「浄仏国土建設のための日蓮宗門が七百遠忌に結集された宗門のエネルギーはどこに向けるべきか」

六月二十四日 人材調査についての研究員打合せを開く。研究例会。

六月二十八日 第一回公開教化学研究集会（研究発表会）を開

く、於宗務院。研究例会。

六月二十八・二十九日 現宗研嘱託会議を開く。

七月二十二日 教化資料収集のため佼成図書館へ出向する。

七月二十七日 現宗研顧問会議を開く。

八月二日 教化資料収集のため国立国会図書館へ出向する。

八月二十二・二四日 第六回北海道教区教化研究会議、於帯

広市法華寺。テーマ「遠忌後の布教体制をめざして」

九月一日 『昭和五十五年度宗勢報告書』を編集し、宗務院より発行する。

九月一日 現宗研嘱託会議を開く。

九月二・三日 第十五回中央教化研究会議を開く、於池上本

門寺朗峰会館。テーマ「立正安国と現代教化」

九月二十七・二十八日 日蓮宗布教選書教化資料編集合宿を行なう。

十月七・八日 中央布教講習会（於身延山）に参加する。

十月十三日 現宗研教化資料シリーズNo.1「三分間法話集

(一)」、No.2「近代日蓮宗年表（昭和55・56年）」を編集発行する。

十月二十二日 第十五回日本仏教文化会議に参加する。

十月二十七・二十八日 全日仏主催同和研修会に所長出席する。

十月二十九・三十日 第三十五回日蓮宗教学研究発表大会に発表参加する。

十一月二十五日 曹洞宗化学大会に参加する。研究例会。

十一月二十六日 現宗研嘱託小委員会を開く。

(昭和五十八年)

一月二十四・二十五日 研究員会議・研究例会を開く。

二月十四日 日蓮宗布教選書編集打合せを開く。

二月十六日 現宗研教化シリーズNo.3 「唱題行入門」を編集発行する。

二月二十一日 各宗教化関係研究機関連絡協議会(於駒沢大学)に参加する。研究例会を開く。

三月二・三日 山梨県早川町地区寺院調査を行なう。

三月四日 第七回山静教区教化研究会議、於静岡県加殿妙国寺。テーマ「在家が求めている宗教とは」

三月八日 「現代宗教研究」(所報) 十七号を発行する。

三月三十一日 第十二回近畿教区教化研究会議